

学校だより
春

“夢と学び。”
蘭 (卒業式特別号)

平成27年3月20日 (金)

発行：本宮市立岩根小学校
文責 校長 佐藤 勇人

今、巣立ちの時



6年1組26名 (春蘭3名を含む)



6年2組22名



6年生を送る会より(3/4)

今年は厳しい寒さの日が多く、春の訪れが遅く感じましたが、最近になって急激に温かくなり木々の花の芽も膨らんできました。今年もまた、校庭の桜も4月にはきっと美しい花を咲かせてくれることでしょう。

子どもたちは、6年生を送る会や卒業式の練習など、学年末のまとめの学習や生活に一生懸命に取り組んできましたが、1～5年生は本日修了式を無事終え、いよいよ来週月曜日の卒業式を残すだけとなりました。

卒業式は、ご存じのとおり、小学校の全課程を修了した6年生に卒業証書を授与し、中学校への門出を皆で祝福する大事な儀式的行事です。この2、3か月、6年生は、友だちや先生と楽しく過ごした小学校生活の思い出を一つ一つ振り返り、自分の成長を見つめたり将来の夢や希望を描いたりしながら、下級生との交流を楽しみ、校舎内外の美化活動にも心を込めて熱心に取り組んでくれました。私たちも、子どもたちの人生の節目としての卒業式を心に残るものになりたいと願い、一人ひとりの成長を認め励ましなが、様々な活動・諸準備に取り組んできました。

卒業生の保護者の皆様には、長い間、わが子の健やかな成長を願って毎朝学校に送り出していただきました。また、本校の教育に対して深いご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

過ぎ去った日々を思い起こせば、さぞかし感慨深いものがあることと思います。突如起こった4年前の東日本大震災と原発事故による放射線の影響により、生活自体が大ダメージを受け、「生きることが辛い」とお思いになった方もたくさんおられたと思います。また、学校も施設に被害を受けたり、運動や水泳学習を制限せざるをえなかったりして、従来のような教育活動ができず、子どもたちに辛い思いをさせてしまうことが多かったと思います。しかしながら、困難に負けず、発想を変えたり励まし合ったりしながら前向きに生きてきたからこそ、今日を迎えられたのだと確信しています。子どもたちも、友だちや先生方と積極的に関わりながら困難を乗り越え、心身ともに大きく成長しました。

3月23日(月)は、お子様の晴れの舞台です。ご家族揃ってお出かけいただき、立派に成長し大きく羽ばたいていく姿をぜひご覧ください。

卒業式には、日頃から子どもたちのためにご支援・ご協力いただいていた地域・町会等の来賓の皆様方に列席していただきます。また、在校生を代表して3～5年生が参加し、6年生と祝いの言葉や別れの言葉を交わし合い、別れを惜しみながら西門から送り出します。

3～5年生にとっては、先輩が築いてきた本校の歴史や伝統を受け継ぎ、最高学年・上学年としての自覚を深め、進級への希望や意欲をもってくださることを期待しています。

各家庭や地域の皆様にも、6年生の卒業、晴れの門出をお祝いしていただければ幸いです。

最後になりましたが、今年度の教育活動にあたり、保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の方々にご多大なるご支援・ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

